

2016年3月期 第1四半期決算説明資料

2015年7月31日

田淵電機株式会社(証券コード:6624)

Global Power-Solution Company



2016年3月期 第1四半期 業績概要

2016年3月期 第1四半期 業績・取り組みのポイント

- 国内太陽光発電用パワーコンディショナ市場は前期末駆け込み需要の反動等により低調な滑り出しも、徹底した原価低減活動により予定の利益を確保
- ハイブリッド蓄電システムの開発完了し、受注活動を開始
- 北米においてもハイブリッド蓄電システムの受注活動を開始

連結業績概要

前年同期比では減少も、計画通りに推移

単位：百万円

	2015年3月期 1Q累計	2016年3月期 1Q累計	増減	増減率
売上高	13,469	10,586	▲2,883	▲21.4%
営業利益	3,290	1,974	▲1,315	▲40.0%
経常利益	3,319	2,044	▲1,275	▲38.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,169	1,360	▲808	▲37.3%

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2015年3月期 1Q累計		2016年3月期 1Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	10,839	2,971	8,242	1,883	▲2,597	▲1,088
変成器	2,630	359	2,344	218	▲286	▲140
調整額	-	▲40	-	▲127	-	▲86
連結計	13,469	3,290	10,586	1,974	▲2,883	▲1,315

連結セグメント別売上高概要

電源機器事業

前年同期比 **▲24.0%**

- 太陽光発電用パワーコンディショナは前期末駆け込みの反動等により低調ではあるが期初計画に沿った推移

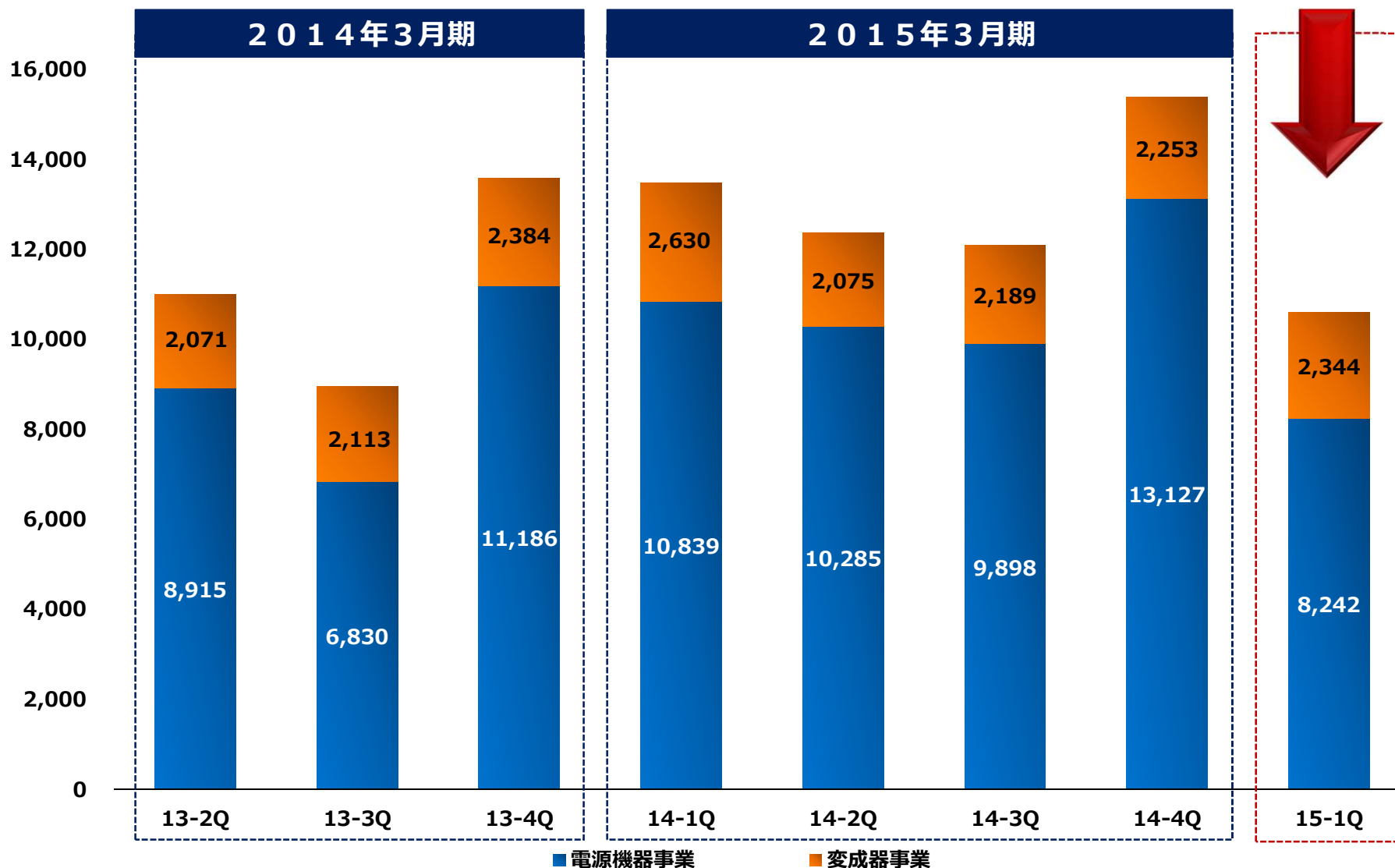
変成器事業

前年同期比 **▲10.9%**

- 高周波トランスはほぼ前年同期並の推移
- 中国エアコン市場の調整によりリアクタが低調

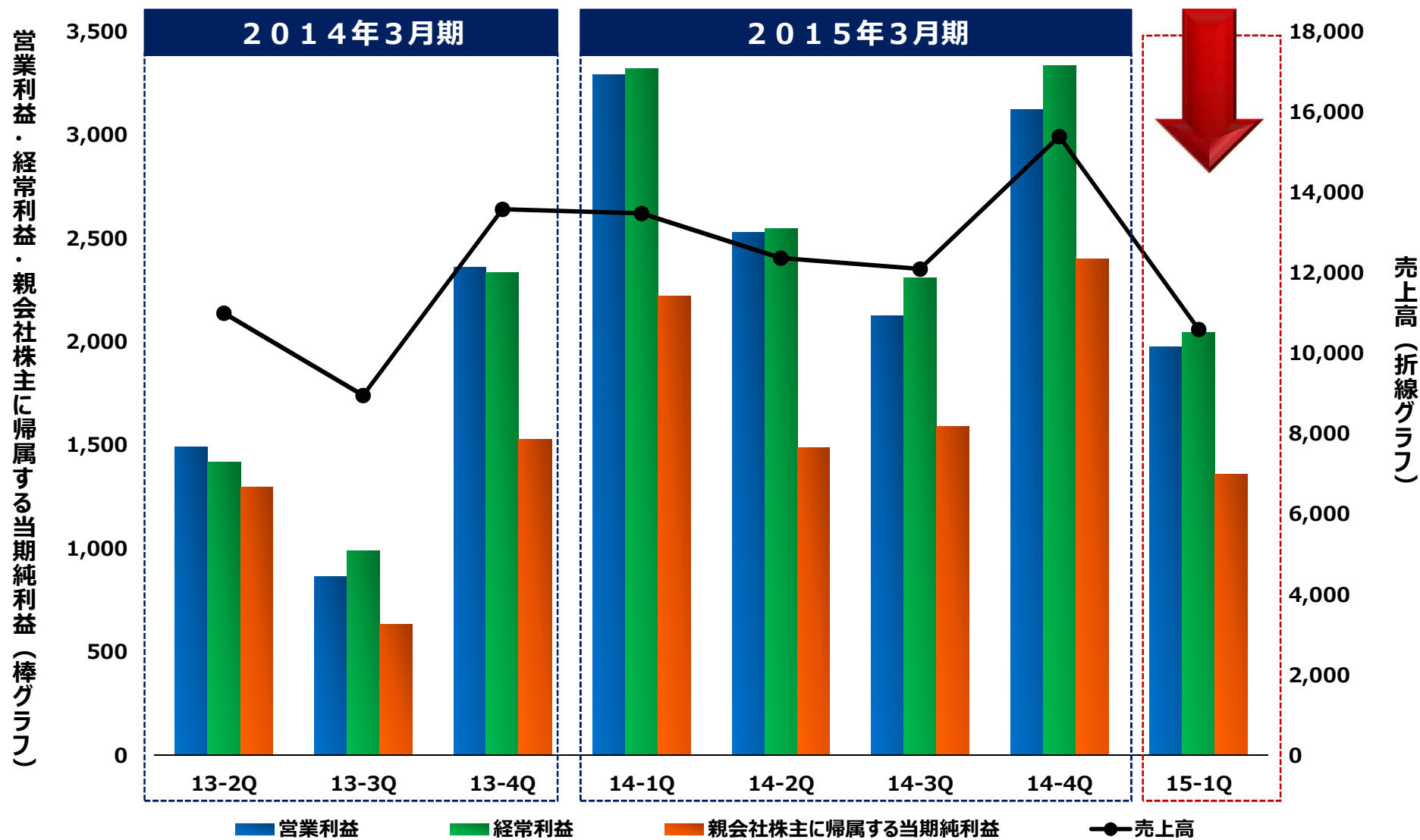
連結セグメント別売上高四半期推移

単位：百万円



連結業績四半期推移

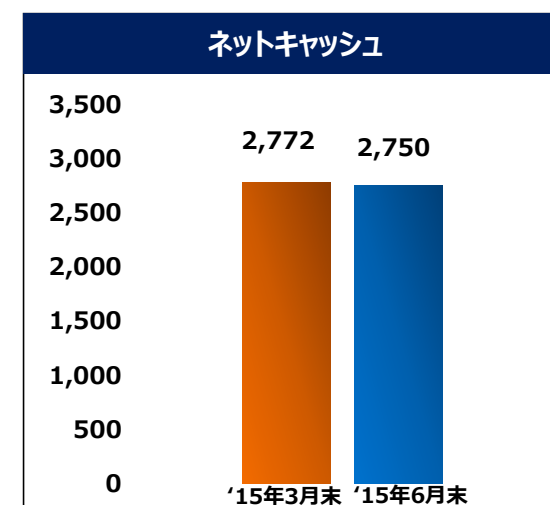
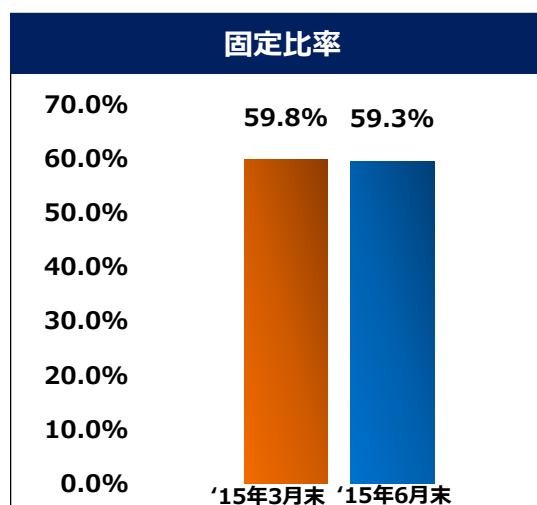
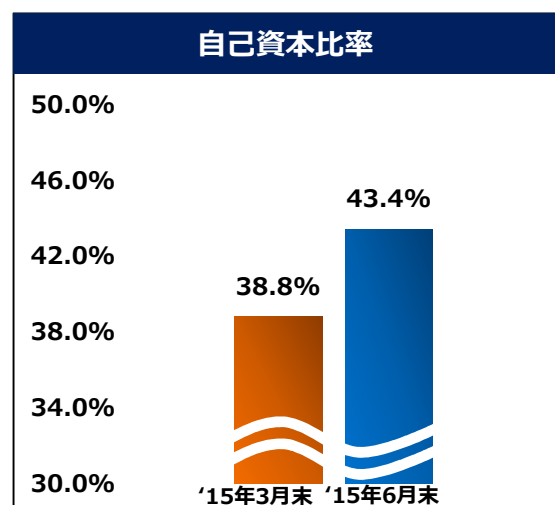
単位：百万円



連結貸借対照表概要

単位：百万円

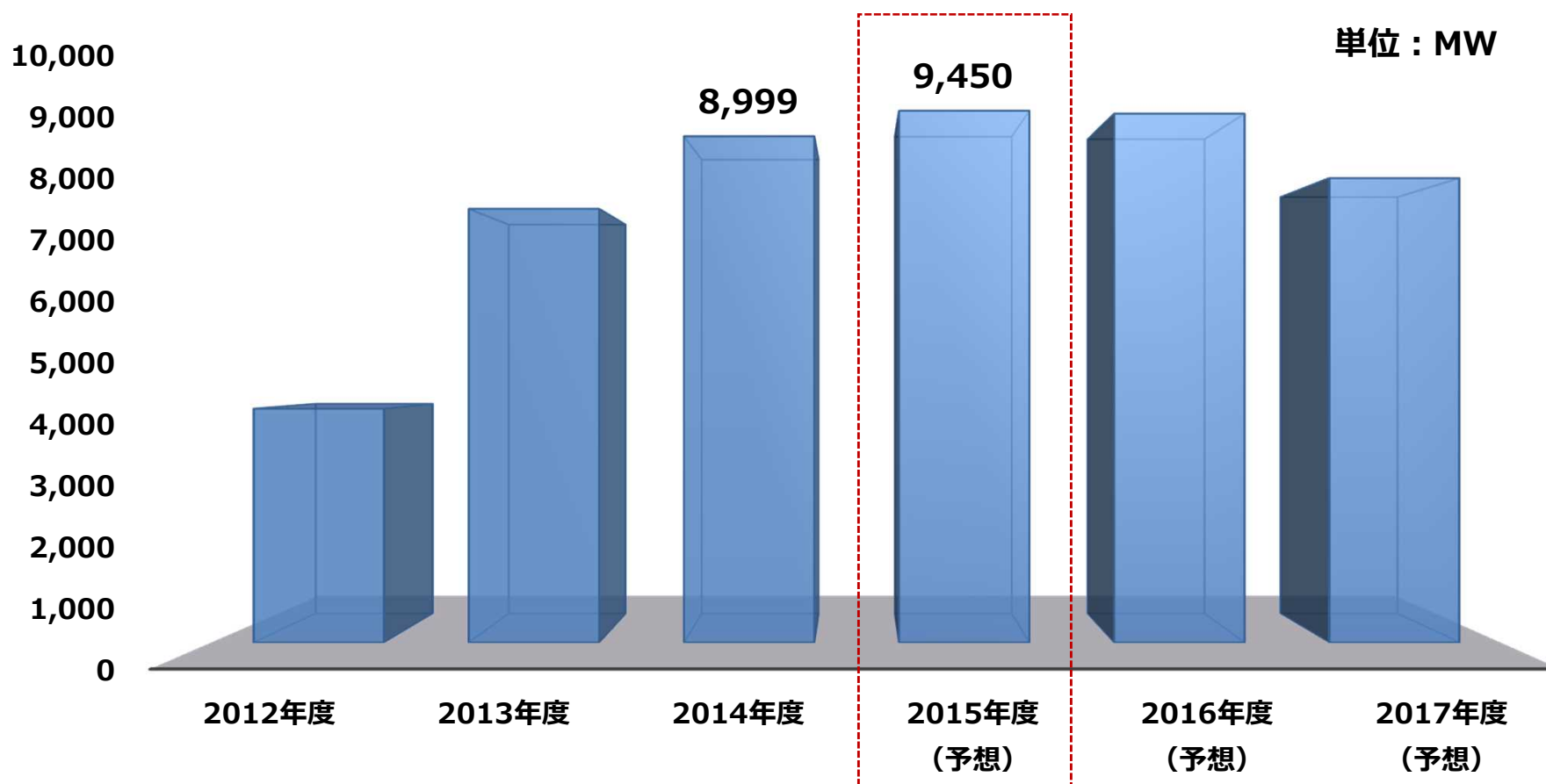
	'15年3月末	'15年6月末		'15年3月末	'15年6月末
現預金	6,868	6,765	仕入債務	8,085	8,738
売上債権	15,408	12,221	短期有利子負債	2,090	2,230
棚卸資産	5,229	6,561	その他（流動）	7,594	4,051
その他（流動）	1,527	1,331	長期有利子負債	2,006	1,785
固定資産合計	8,765	9,305	その他（固定）	3,365	3,678
繰延資産	2	2	純資産	14,661	15,703
資産計	37,802	36,187	負債・純資産計	37,802	36,187



今後の取り組みと見通し

国内太陽光発電システム市場の見通し

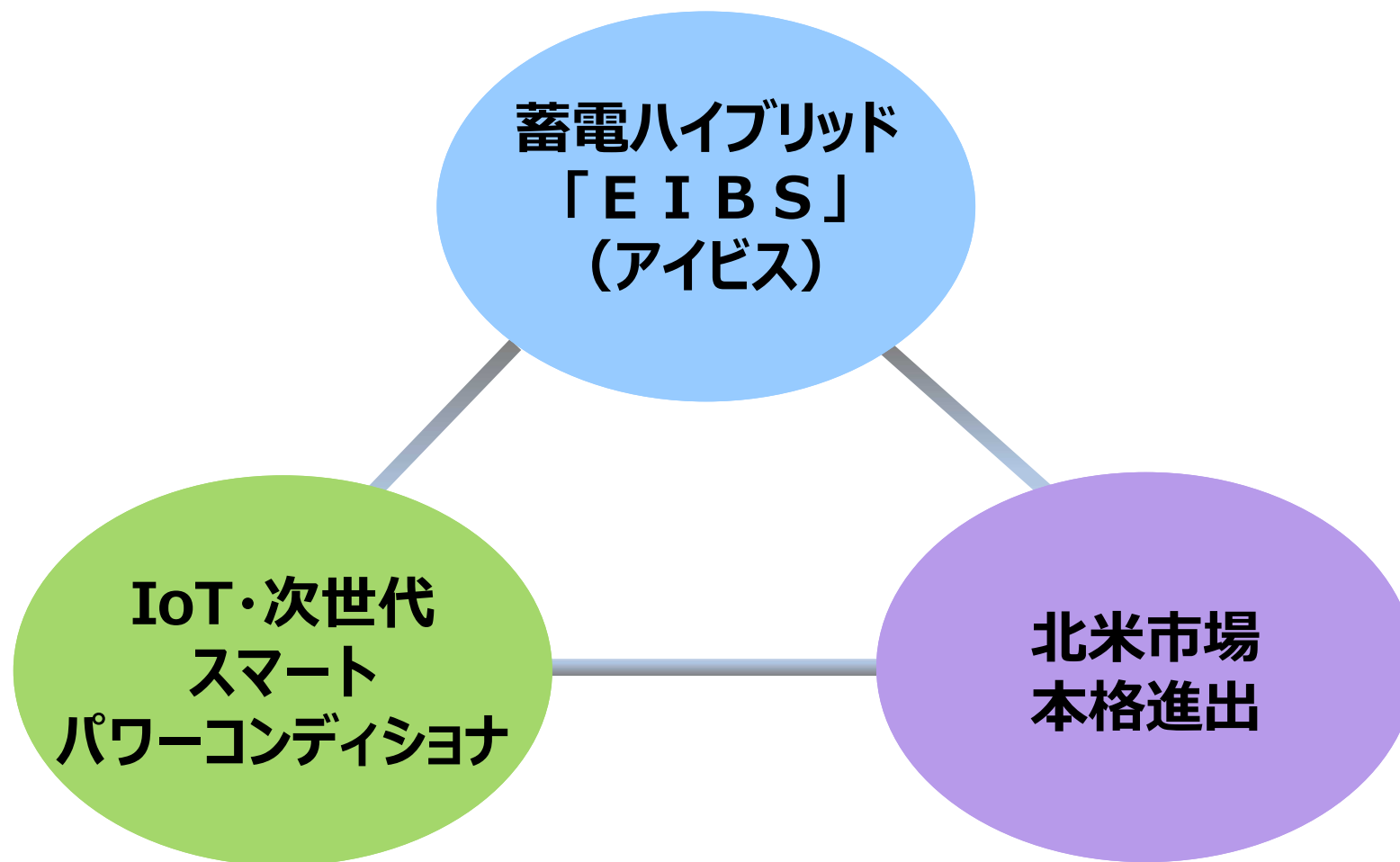
通期では前年度並み水準の見通し



※ 矢野経済研究所(株)「新エネルギー用パワーコンディショナ市場 2015」より当社作成

当年度のエネルギー分野における当社の戦略

蓄電ハイブリッド投入／IoT／北米拡販の3本の矢による展開



蓄電ハイブリッド「E I B S」／北米市場本格進出

7月より国内・北米向けともに販売開始、エネルギーマネジメント新時代へ



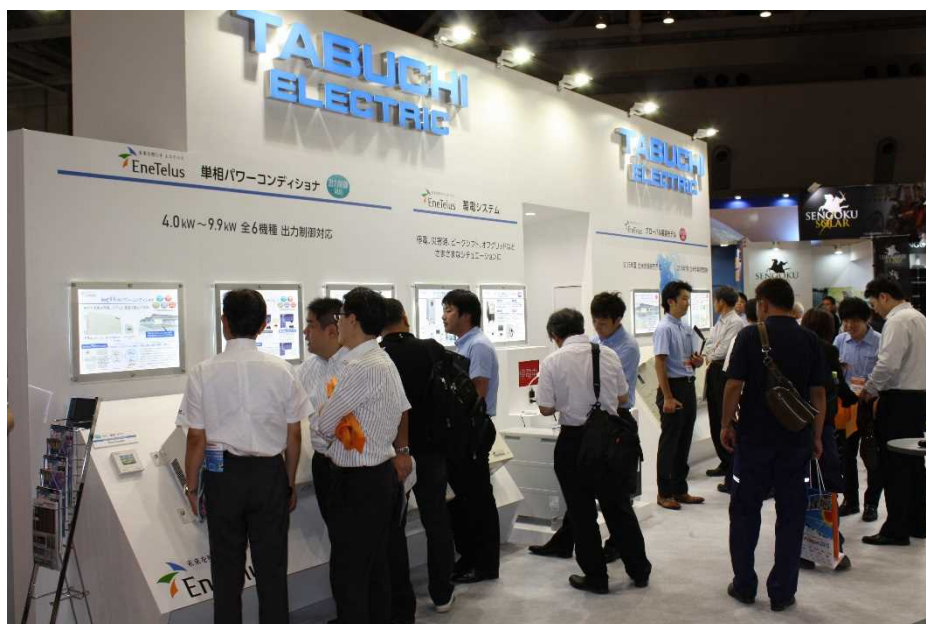
国内仕様「E I B S」



北米仕様「E I B S」

国内太陽光発電市場の展開 PV Japan 2015 (7月29日-31日)

「蓄電ハイブリッド『EIBS』」と「遠隔監視パッケージ」の新製品を訴求し、EneTelusブランド世界展開モデルのパワーコンディショナも一堂に集結。エネルギー先進企業としての技術力を強かに印象付けました。



北米市場における強力な推進

Intersolar North America 2015（7月14日-16日）

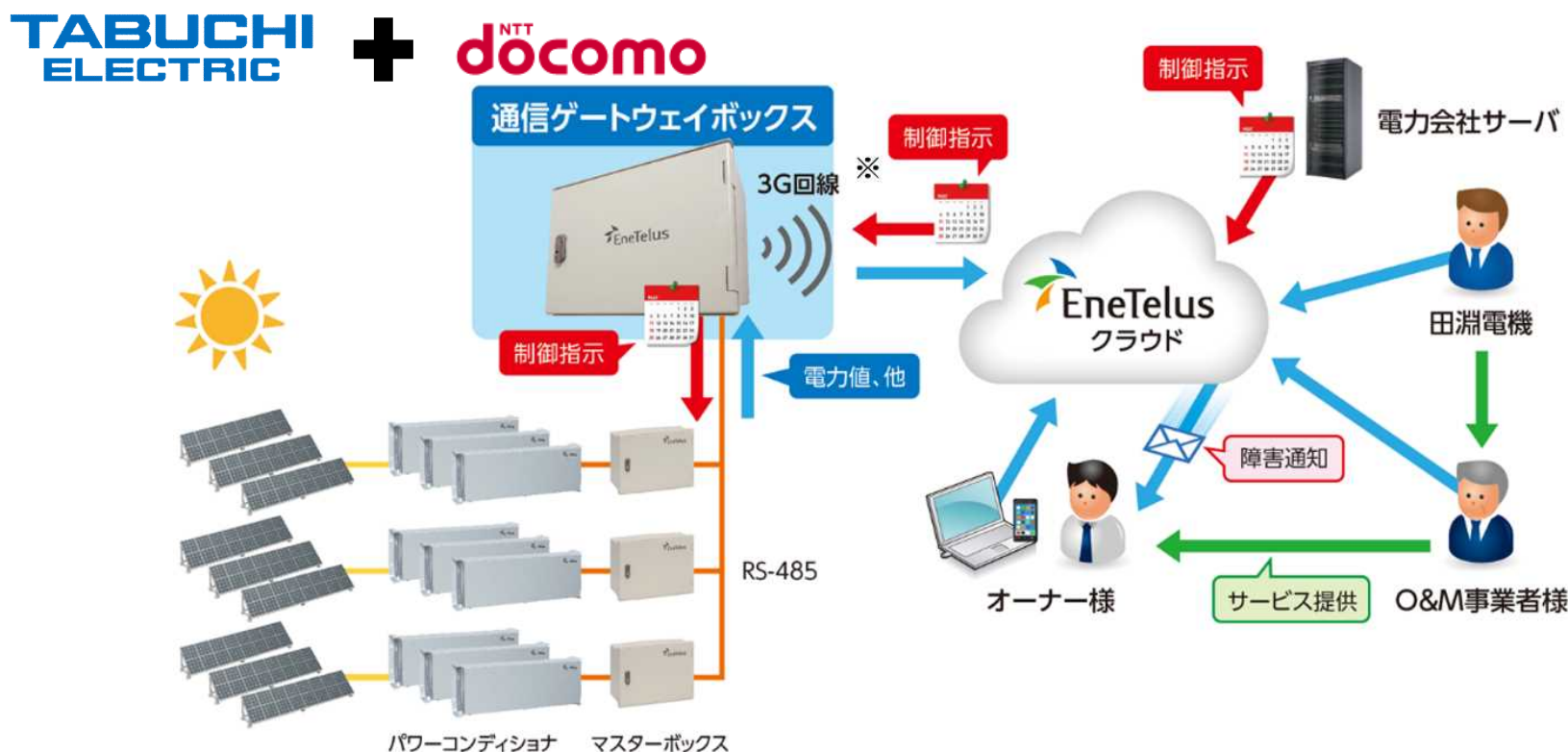
3日間で1,000名以上が当社ブースに来場する盛況ぶり。
蓄電ハイブリッド「EIBS」を中心に活発な商談が繰り広げられ、
米国市場における当社製品への関心の高さをうかがわせました。



IoT／次世代スマートパワーコンディショナ

「エネテラス・クラウド」によるトータルソリューションサービス

エネテラスパワーコンディショナ製品を使用した太陽光発電施設を、インターネット経由で発電事業者様、システム販売会社様の双方が遠隔監視

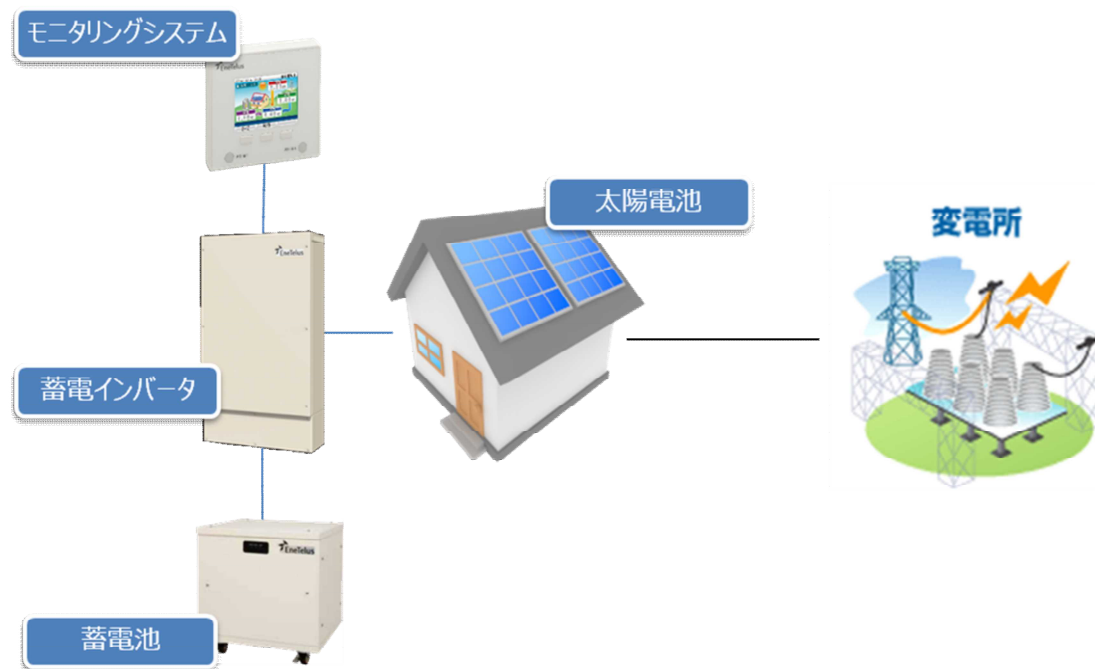


※ 3G回線：ドコモが提供する「docomo M2Mプラットフォーム」及びデータ通信回線を活用

カナダでのスマートコミュニティ実証事業に参画

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が
カナダオンタリオ州オシャワ市、オシャワ電力（OPUC）と協力することで
合意した同市でのスマートコミュニティ実証事業に参画

- ・2015～2016年度の2年間、オシャワ市内30戸に蓄電ハイブリッドシステムを設置
- ・停電時における非常用電源としての有用性および系統安定化を検証



（オシャワ市での調印式）

R&D機能強化

京都大学との連携による「田淵電機R&D分室」開設

京都大学大学院工学研究科電気工学専攻・和田研究室と連携した
先進的エネルギー工学研究拠点として活用



産業機器／医療・ヘルスケア機器／輸送機器

各分野技術底上げ・グローバル拡販を推進、アライアンス等も視野



カテゴリ毎に最適化された
パワーエレクトロニクスデバイス



<予想> 連結業績

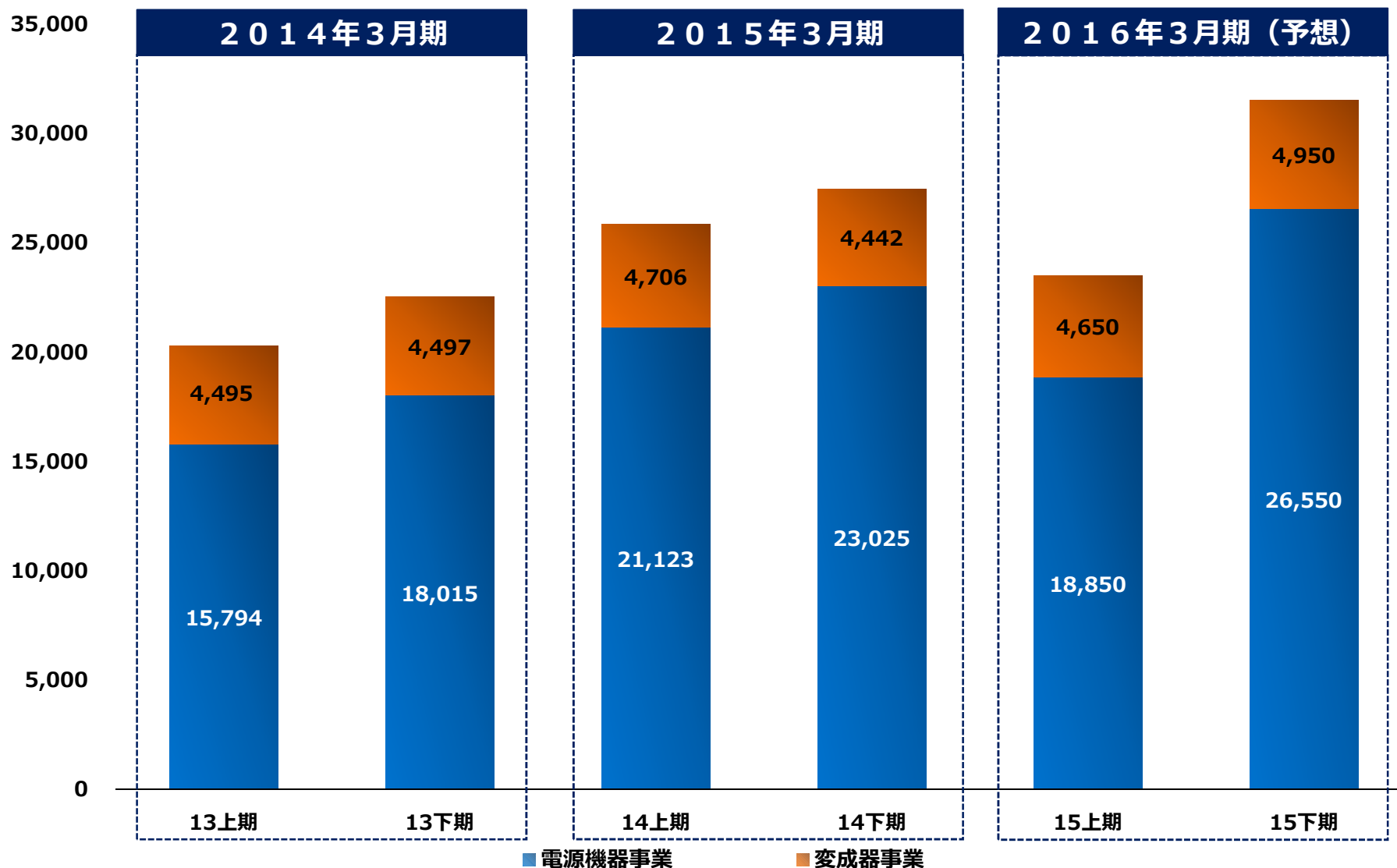
当初予想を据え置き

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年3月期		
		上期	下期	通期
売上高	53,299	23,500	31,500	55,000
営業利益	11,061	3,500	5,000	8,500
営業利益率	20.8%	14.9%	15.9%	15.5%
経常利益	11,506	3,400	4,900	8,300
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,695	2,200	3,300	5,500
配当	年間計 13円	中間 8円	期末 8円	年間計 16円

※予想の前提となる為替レートは1ドル115円です

<予想> 連結セグメント別売上高推移



TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。